



平成 23 年 4 月 27 日

各 位

会社名 イソライト工業 株式会社
代表者名 代表取締役社長 塚本 昇
(コード 5358 大証第1部)
問合せ先 常務取締役総務部長 伊達 和宏
(TEL. 06-7711-5801)

業績予想の修正及び特別損失の計上並びに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 11 月 10 日に公表いたしました業績予想について、下記のとおり修正するとともに、特別損失の計上並びに配当予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	11,800	130	△140	△290	△12.31
今回修正予想(B)	12,000	440	160	70	2.97
増減額(B-A)	200	310	300	360	—
増減率(%)	1.7	238.5	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成22年3月期)	10,915	△660	△785	△1,127	△47.88

2. 平成 23 年 3 月期通期個別業績予想の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	6,300	△30	△40	△130	△5.51
今回修正予想(B)	6,390	60	60	80	3.39
増減額(B-A)	90	90	100	210	—
増減率(%)	1.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成22年3月期)	5,992	△398	△431	△1,530	△64.98

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想

基幹の断熱関連事業におきまして鉄鋼・半導体等における設備投資による需要及び自動車向け等の需要が順調に推移したため、連結売上高は前回予想並みになる見通しです。

利益面におきましてはグループ全体で製造原価低減や経費削減に努めたこと等により前回発表を上回り、経常利益、当期純利益ともに黒字に転換する見通しです。

(2) 個別業績予想

石油化学業界等においては回復が遅れましたが鉄鋼等における設備投資の需要は順調に推移した結果、売上はほぼ前回予想並みとなる予定です。

損益面につきましては、製造原価低減活動や経費の削減活動の結果、営業利益、経常利益とも黒字となる見込みです。また、当期純利益につきましても黒字を確保できる見込みです。

4. 特別損失の計上について

断熱関連事業を行う海外連結子会社である Isolite Insulating Firebrick Sdn.Bhd. の純資産が当社の出資額に対して50%以下となり、また、今後早期の回復が見込めないことから同社の株式評価損139百万円を計上します。

なお、当該株式評価損は連結子会社に係るものであるため連結決算における業績への影響はありません。

5. 平成23年3月期の配当予想の修正

(1) 配当予想修正の理由

当社はグループの収益力向上により株主資本の充実を図り、経営基盤を強化し成長に必要な研究開発や設備投資のため内部留保を勘案して、株主の皆様へ安定的な配当の継続による利益還元を図ることを基本方針としております。

当社では経営環境の先行きが不透明であることから期末配当予想を未定としていましたが当期の業績を総合的に勘案した結果、誠に遺憾ではありますが無配といたします。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期の復配に向け更なる経営努力を重ねてまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 修正の内容

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想 (平成23年2月9日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 (未定)	円 銭 (未定)
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成22年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 上記の予想数値は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な不確定要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上